



行谷小学校 学校だより

トキが飛び交う佐渡の空

# トキっ子

第4号 [7月号]



平成30年7月23日発行

シリーズ「元気が一番！」

## 日本で一番トキに詳しい小学生

校長 笠井 猛雄

「あっ、トキだ！」

トキを見つけた子どもたちが叫びます。

現在、野生化トキの個体数は360羽（佐渡島内で358羽、本州で2羽）となりましたが、子どもたちにとってトキは、まだまだ特別な存在のようです。（2018/07/17現在）

もちろん私にとっても、おそらく子どもたち以上に、トキは特別な存在です。

外出した時など、時折空を見上げてはトキを探します。

トキを見つけると「あっ、トキだ！」と思わずつぶやいてしまいます。

車を止め、その華麗な姿にしばらく見とれます。

行谷小学校では、4月23日の「トキの話を聞く会」、5月1日の「トキ集会」から、全校体制でトキ学習を進めてきました。

特に6年生は、トキ学習を通して県内外の学校との交流を行いました。

インターネットを活用して年間を通して交流をしている川南小学校（会津若松市）をはじめ、第二上田小学校（南魚沼市）、三川小学校（阿賀町）、五泉南小学校の子どもたち（いずれも6年生）との交流を深めました。

交流校は、規模が同程度の学校が多いのですが、7月5日に来校した五泉南小学校は77名です。

自分たちの学級の5倍以上の人数に圧倒されることなく、6年生の子どもたちはこれまでのトキ学習の成果を発揮し、物怖じせずに堂々とトキ解説を行いました。



【写真】五泉南小学校との交流会 2018.7.5  
コンピュータソフトを活用して、説明資料と原稿を作成し、一人でトキ解説を行いました。資料に写真やイラスト、吹き出しを入れるなど、一人一人が自分なりの表現方法を工夫し、質問にも堂々と答える姿が印象的でした。

1学期、全校の子どもたちに繰り返し問い続けてきたことがあります。

日本で一番トキに詳しい小学生がいる学校はどこでしょう。

意外にも当初は、「どこだ?」「知らない」などと、人ごとのような表情だった子どもたちでしたが、今では全員が自信をもって「行谷小学校」と答えられるようになりました。

夏休みには、3年生以上の子どもたちがトキの森公園でトキ解説を行います。

日本で一番のトキの学校としての自信と誇りをもって、トキ解説を行ってほしいと思います。佐渡の小学生の代表として、元気な笑顔で責任ある行動ができることを期待しています。



事件・事故、災害等で子どもたちの尊い命が奪われるという報道が後を絶ちません。非常に心が痛みます。皆様には、登下校時の見守り活動、危険箇所の点検等、子どもたちの安全確保のためにご尽力いただいていることに改めて感謝申し上げます。

いよいよ夏休みに入ります。引き続き、お子さんへの声掛けと見守りをよろしく願いいたします。事故のない安全で有意義な夏休みを過ごせることを願っております。

1学期のご支援とご協力ありがとうございました。

◀「いつも元気な行谷小職員」(作:沙也加)

